

千葉大学病院にて胸部の手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年1月10日

呼吸器外科

呼吸器外科では、形成術を伴う肺切除術に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2021年12月31日の間に当院において原発性肺癌
に対する肺切除を受けた方

1. 研究課題名

「GGNの有無および腫瘍充実径が外科治療成績に与える影響」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

「当院における原発性肺癌手術において、術前CTでのすりガラス影（GGN）の有無と腫瘍充実部分の長さが術後の経過に与える影響を調査することを目的としています。」

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2013年1月1日から2021年12月31日の間に、当院において原発性肺癌に対する肺切除を受けた患者さんに関して、手術データベースをもとにした臨床情報を解析します。具体的な臨床情報としては、年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、生化学検査、血液学的検査、CT等の臨床検査結果、がん原発部位、組

織型、ステージ、手術記録、術後合併症、予後などの情報を解析し、今後より良い肺切除術の適応を検討します。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部本館7階 呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 山中 崇寛

043(222)7171 内線5464